

## VI 公害に関する苦情処理状況

市民からの公害苦情については、大部分が大気汚染、水質汚濁、騒音等の「典型7公害」に関するものである。光害、熱風など日常生活において不快感を伴うものを含め、多数の苦情が市に寄せられている。

### 1 全市の公害苦情件数の推移

全市の平成27年度の公害苦情の受付件数は377件であり、平成26年度（379件）と比べて2件減少した。

種類別にみると、騒音に係る苦情（工事現場の作業音等）が145件と最も多く、次いで、大気汚染に係る苦情が86件、悪臭に係る苦情が67件と多かった。

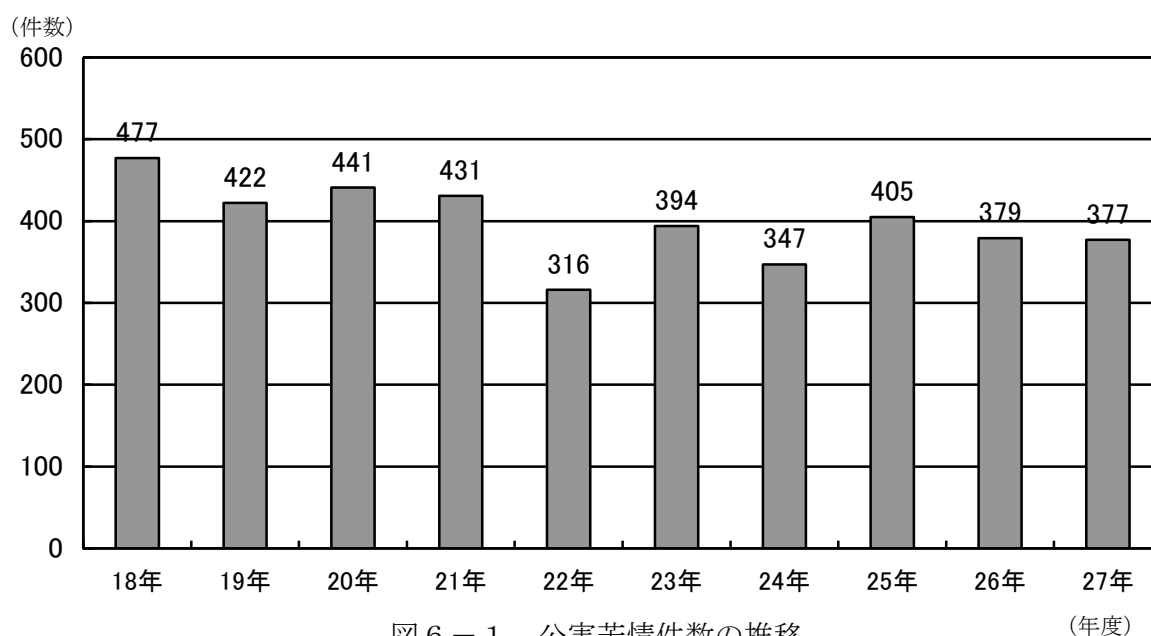


図6-1 公害苦情件数の推移

表6-1 種類別の公害苦情件数の推移

種類／年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
大気汚染	176	186	193	136	80	118	116	107	85	86
水質汚濁	15	8	38	123	91	75	50	90	54	65
土壌汚染	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0
騒音	132	102	99	94	59	101	105	121	160	145
振動	38	19	18	7	10	21	19	24	16	14
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	105	93	84	67	67	71	48	54	64	67
小計	466	408	433	429	308	386	338	396	379	377
その他	11	14	8	2	8	8	9	9	0	0
合計	477	422	441	431	316	394	347	405	379	377

## 2 区別の公害苦情件数

平成 27 年度の区別の公害苦情件数は、西区が 65 件と最も多く、次いで、中央区が 63 件、東灘区が 51 件と多かった。

最も公害苦情件数が多かった西区において、種類別にみると、悪臭に係る苦情が 21 件と最も多く、次いで、大気汚染に係る苦情が 15 件と多かった。

表 6－2 平成 27 年度 区別の公害苦情件数

種類／区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
大気汚染	10	5	11	7	13	8	5	12	15	86
水質汚濁	9	7	5	3	8	8	4	8	13	65
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	20	9	36	14	5	20	11	16	14	145
振 動	3	1	1	2	0	2	2	1	2	14
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	9	2	10	7	6	6	0	6	21	67
小 計	51	24	63	33	32	44	22	43	65	377
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	51	24	63	33	32	44	22	43	65	377

## 3 月別の公害苦情件数

平成 27 年度の月別の公害苦情件数は、10 月が 44 件と最も多く、次いで、8 月が 40 件と多かった。

表 6－3 平成 27 年度 月別の公害苦情件数

種類／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大気汚染	7	6	5	8	8	4	10	8	10	5	7	8	86
水質汚濁	6	1	4	5	2	5	8	3	6	8	4	13	65
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	12	10	10	19	14	17	14	14	6	10	10	9	145
振 動	2	3	0	2	0	3	0	1	1	1	1	0	14
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	5	5	2	5	16	7	12	4	5	3	2	1	67
小 計	32	25	21	39	40	36	44	30	28	27	24	31	377
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	32	25	21	39	40	36	44	30	28	27	24	31	377

#### 4 用途地域別の公害苦情件数

平成 27 年度の用途地域別の公害苦情件数は、住居系地域が 200 件で最も多く、次いで商業系地域が 79 件で多かった。住居系・商業系地域では騒音の件数が多く、市街化調整区域では大気汚染、工業系地域では悪臭の件数がそれぞれ多かった。

表 6－4 平成 27 年度 用途地域別の公害苦情件数

種類／用途地域	住居系 地域	商業系			工業系				市街化 調整区 域	計
		近隣商 業地域	商業 地域	小計	準工業 地域	工業 地域	工業専 用地域	小計		
大気汚染	41	8	7	15	5	7	1	13	17	86
水質汚濁	38	1	1	2	6	4	4	14	11	65
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	85	19	28	47	6	4	1	11	2	145
振 動	9	4	0	4	0	1	0	1	0	14
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	27	7	4	11	11	4	3	18	11	67
小 計	200	39	40	79	28	20	9	57	41	377
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	200	39	40	79	28	20	9	57	41	377

#### 5 発生源別の公害苦情件数

騒音、振動の苦情では、その半数以上が建設現場を発生源としており、一方、大気汚染、水質汚濁、悪臭の約半数では原因が不明などであった。

表 6－5 平成 27 年度 発生源別の公害苦情件数

種類／発生源	事業場	建設現場	交通機関	その他 (野焼き等)	計
大気汚染	3	41	0	42	86
水質汚濁	16	13	0	36	65
土壌汚染	0	0	0	0	0
騒 音	27	82	6	30	145
振 動	0	7	7	0	14
地盤沈下	0	0	0	0	0
悪 臭	12	0	0	55	67
小 計	58	143	13	163	377
そ の 他	0	0	0	0	0
合 計	58	143	13	163	377